

公共空間 逆プロポーザル

開催企画書

2019年7月吉日

公共R不動産

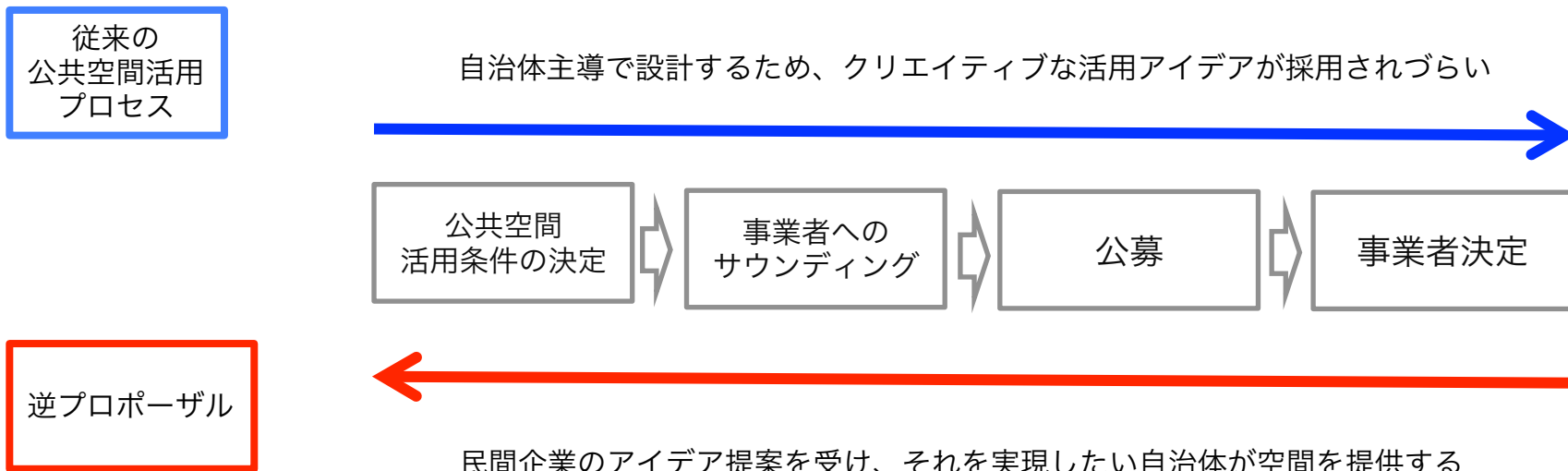
— REALPUBLICESTATE —

コンセプト

これまで公共空間の活用は、自治体が出した制約の中でしか民間企業の提案する場がありませんでした。そのため制度や組織の壁に阻まれて実現までたどり着くのは困難でした。

そこで「公共空間 逆プロポーザル」は、民間が自由にクリエイティブな発想で企画を投げ込み、それを実現したい自治体の手をあげるという今までとは全く逆のプロセスを作ってみようという試みです。

私たち公共R不動産は、これまでにない自治体と民間企業の新しいマッチングの場「公共空間 逆プロポーザル」を提供します。



開催概要

○開催日時 2019年9月27日（金）12:30より受付開始

○タイムテーブル

13:00 概要説明

13:15 馬場正尊 講演「日本の公共空間をもっと楽しく！（仮）」

13:40 プレゼンテーション&質疑

15:25 トークセッション

16:00 閉会

○開催会場 北千住BUoYアートセンター（東京都足立区千住仲町49-11）

○参加費
自治体 5,000円（税込）／人
一般 3,000円（税込）／人

○参加人数 200名

○プレゼンター

- ・秋吉浩気氏（VUILD株式会社 代表取締役CEO）
- ・伊藤大地氏（Do it theater 代表）
- ・小谷翔一氏（株式会社アカツキライブエンターテインメント）
- ・園利一郎氏（角川ドワンゴ学園 N高等学校 キャリア開発部 副部長）
- ・橋本康治氏（ヤンマー株式会社 食事推進室 市場開発グループ）

（五十音順）

○主催 公共R不動産

○協力 特定非営利活動法人日本PFI・PPP協会

1 エントリー、建物概要シート提出

メールでエントリーシートを提出していただいた後に、
空き公共空間の建物概要シート（通称「ネタシート」）を提出していただきます。
（詳細はP4へ）

- ・エントリー期間 : 7/16（火）～8/16（金）
- ・ネタシート提出期間 : 8/19（金）～9/13（金）

2 イベントに参加

公共施設を活用したい企業が、自治体及び関係団体に対し公共施設の使い方のアイデア、物件スペック、立地条件をプレゼンテーションします。

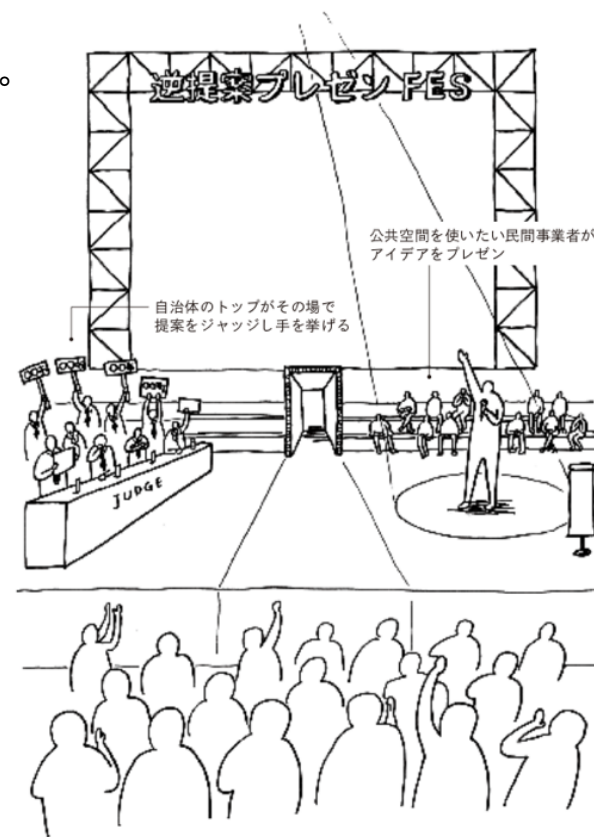
3 持ち帰って作戦会議

各市町村へ持ち帰り、所轄担当者と協議

4 企業に問い合わせ

プレゼンター企業と自治体が契約するまでのマッチングを公共R不動産がサポートします。企業へのお問い合わせは、「質問シート」をメールにてご提出ください。

- ・受付期限 10/11（金）
- ・提出先 info@realpublicestate.jp（公共R不動産 逆プロポーザル係）
「質問シート」のフォーマットは、イベント後メールにてお送りします。



自治体の皆様へ ーご協力をお願いー

エントリー完了後、空き公共空間（宅地含む）の建物概要シート（通称「ネタシート」）をメールにてご提出下さいますようお願いをいたします。

なお、ご提供いただいた情報は、イベント中、皆様から登壇者への質疑の際に投影させていただくがございます。

提出期間 8/19（火）～9/13（金）

提出先 info@realpublicestate.jp
(公共R不動産 逆プロポーザル係)

※ご不明やご質問などございましたら、メールにてお問い合わせください

ネタシート

- 1.所在地、位置図
- 2.築年数
- 3.従前の用途
- 4.敷地面積、建物面積、階数
- 5.用途地域、建ぺい率、その他、都市計画など
- 6.写真



Q & A よくあるご質問

Q 1 イベント後、企業に直接連絡してもよいですか。

A 1 先ずは公共R不動産にご連絡いただき、質問事項を整理した上で、企業へおつなぎいたします。

Q 2 イベント中にマッチングが成立する事がありますか。

A 2 イベントでは、プレゼンターとなる企業へ自治体の皆様がヒアリングするところまでを想定しています。

Q 3 都心だけではなく、地方の物件も対象となりますか。

A 3 都心、地方、海辺、里山等、企業のニーズに偏りの無いよう選定しています。

Q 4 ネタシートは一般公開されますか。

A 4 ご提供いただいた資料を無断で企業へ譲り渡したり、一般公開することはありません。
ただし、ネタシートの情報をもとにイベント中、司会者から自治体の方へ質問を促す可能性があります。

Q 5 ネタシートの提出が難しく、聴講のみの場合はエントリー可能ですか。

A 5 一般枠でのお申し込みとなります。公共R不動産ウェブサイトから「peatix」よりお手続きをお願いします。
一般枠の参加申し込み開始は8月末～9月上旬頃を予定しています。

前回（2018年9月開催）の様子

○参加自治体

エントリー：43自治体

青梅市、三浦市、川崎市、箱根町、小田原市、さいたま市、毛呂山町、
いすみ市、常総市、鹿沼市、沼津市、佐世保市、糸魚川市、新発田市、
高砂市、気仙沼市、安城市、滑川市

遊休不動産件数：44物件

○プレゼンター

株式会社良品計画
株式会社SCRAP
株式会社オレンジ・アンド・パートナーズ
株式会社テイクアンドギヴ・ニーズ
株式会社カヤック
株式会社シンクスマイル
株式会社ガイアックス

○コメンテーター

寺沢 弘樹氏（特定非営利活動法人日本PFI・PPP協会 業務部長）
林 有理氏（大阪府四條畷市 副市長）

